

令和6年度の取り組み（案）

令和6年4月

南 城 市

今年度の取り組み概要(案)

- 公共交通の利用を促すため、Nバス運賃支援事業、利用促進イベント、公共交通便りの発行等を継続して実施します。
- 令和5年度第5回交通会議（令和6年1月）での検討結果を受け、令和6年4月よりNバスを、令和6年10月よりおでかけなんじいを、新たな運行計画にもとづき運行します。
- Nバス、おでかけなんじいともに、運行見直し後の利用状況等をみながら、運賃見直しについて検討します。また、運行計画見直し後の利用状況を踏まえ、運行計画の見直しも検討します。
- 地域公共交通計画の策定に向け、移動に関するニーズ調査を実施します。また、計画策定を機に、市民が主体となった交通まちづくりを進めるための取り組みを検討します。

表 1.今年度の取り組み概要(案)

区分	取り組み名	概要
1. 公共交通 利用促進策 の実施	1. Nバス運賃支援事業	市民を対象に65歳以上及び障がい者については、Nバスの無償化を実施
	2. 利用促進イベントの実施	学校と連携した公共交通の乗り方教室や、モビリティ・マネジメントの実施、市内のイベント等と連携した利用促進策などを実施
	3. 公共交通便りの発行	夏、冬の2回、公共交通の利用促進を図るため、公共交通便りを発行
2. 公共交通 の改善策の 検討	1. Nバス及びおでかけなんじいの運賃見直しの検討	路線バス、タクシー運賃の値上げ状況、運行計画見直し後の利用状況を踏まえ、令和7年度以降のNバス及びおでかけなんじいの運賃の見直しを検討
	2. Nバス及びおでかけなんじいの運行計画の見直しの検討	運行計画の見直し後の利用状況、路線バスのダイヤ変更等によるNバスとの乗り継ぎの影響等を踏まえ、令和7年度以降の運行計画の見直しを検討（ルート、ダイヤ等）
	3. 乗降データ等の取得方法及び分析方法の検討	乗降データ、人流データ等の取得方法の検討（マイナンバーカードの連携含む）、データ分析方法の検討
3. 地域公共交通計画策定に向けた取り組み	1. ニーズ調査の実施	計画策定に向け、現在の移動状況や移動に関する問題、要望、評価等をするための調査を実施
	2. 交通まちづくりに向けた取り組み検討	市民が主体となった交通まちづくりの機運を高めていくための取り組みを検討。取り組みによっては、今年度での着手を検討

区分	取り組み名	概要
4. 新たなモビリティの検討	1. 自動運転の実証運行の検討	自動運転車両を活用した新たな交通サービスの可能性を実証事業により検討
5. 観光交通の利便性向上に向けた検討	1. 観光二次交通、三次交通の実証運行等の検討	暮らすように旅ができる観光交通の実現に向けた交通手段の確保を検討

区分1 公共交通利用促進策の実施

1.1 Nバス運賃支援事業

- 南城市在住の65歳以上の方または障がい手帳をお持ちの方が、安心して通院や買い物等で外出できる機会を増やし、生きがいと安らぎを持てる環境の整備を図ることを目的に、南城市Nバス運賃支援事業を継続して実施します。
- 実施期間は、令和8年3月31日（令和7年度末）までとなっています。

1.2 利用促進イベントの実施

- 児童・生徒の公共交通利用促進を図るため、学校と連携した乗り方教室や、モビリティ・マネジメントの実施を検討します。
- 市内で開催されるイベントと連携した利用促進策を実施します。なお、令和6年3月には「南城市地域物産館10周年感謝祭（南城市観光協会主催）」と連携し、会場内でのNバスの展示及び乗車体験を実施し、Nバスで来場された方を対象に、粗品を進呈する取り組みを実施しました。

1.3 公共交通便りの発行

- 公共交通の利用促進を図るため、夏期と冬期の年2回、公共交通便りを発行し、全世帯に配布します。

区分2 公共交通の改善策の検討

2.1 Nバス及びおでかけなんじいの運賃の再検討

- Nバスの市民運賃（大人 160 円）は、路線バスの初乗り運賃を目安として設定しており、路線バスの初乗り運賃値上げ（大人 160 円→190 円）及び燃料費高騰等の状況も踏まえ、運賃見直しについて検討を行います。
- 路線バスの運賃値上げは、令和 6 年 4 月 1 日に琉球バス交通が実施、令和 6 年 6 月に沖縄バス及び東陽バスが実施予定となっており、Nバスの運賃がやや割安な状況となっています。
- また、タクシー運賃の値上げは、令和 5 年 10 月に行われており、おでかけなんじいとの運賃差がさらに拡大しています。
- 運行計画見直し後の利用状況をみながら、公共交通の持続可能な運行に繋げるため、Nバス及びおでかけなんじいの運賃見直しを検討します。（実際の運賃見直しは、令和 7 年度以降になります。）

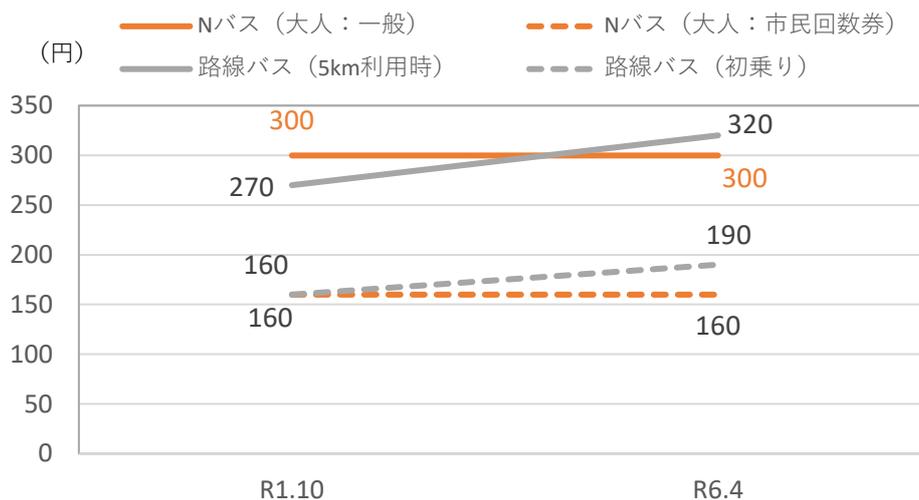


図-1.Nバスと路線バス(5km 乗車時・初乗り)の運賃の推移

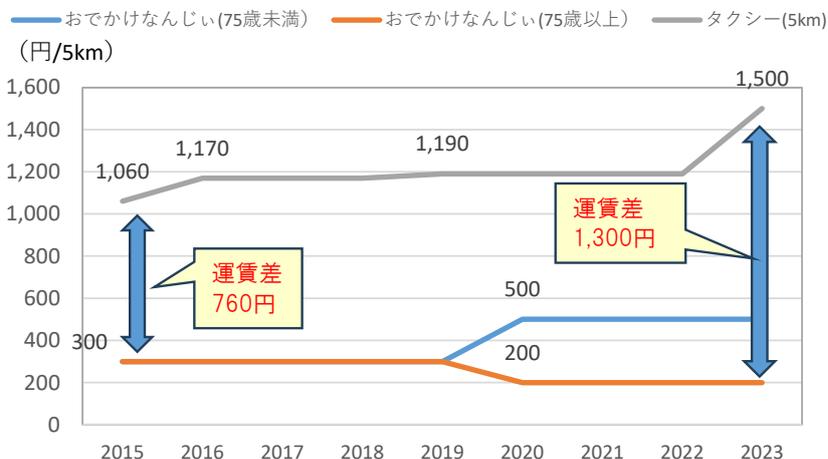


図-2.おでかけなんじいとタクシー(5km 乗車時)の運賃の推移

2.1 Nバス及びおでかけなんじいの運行計画の見直し

- 運行計画見直し後のNバス、おでかけなんじいの利用状況を踏まえ、必要に応じて令和7年度以降のNバス及びおでかけなんじいの運行計画の見直しを検討します。
- Nバスについては、系統別、区間別の利用状況を踏まえ見直しを検討します。
- おでかけなんじいは、運行見直し検討基準（1便あたり2.0人の利用を維持）をもとに、見直しを検討します。

表 2.おでかけなんじいの運行見直し検討基準

項目		運行見直し基準	備考
減便	3台→2台	2.0人/台未満	乗合としての維持を考慮
運行取り止め		2.0人/台未満	//
増便	2台→3台	3.0人/台以上	増便後も2.0人/台
	3台→4台	3.0人/台以上	//

※運行エリアが広いため、1台/時のみでの運行は行わない。

※時間帯別の運行台数に凸凹が生じないよう柔軟に基準を運用する。

区分3 地域公共交通計画策定に向けた取り組み

3.1 ニーズ調査の実施

- 地域公共交通計画の策定に向け、市民や観光客の移動実態や、移動に関する要望等を把握するための調査を実施します。

3.2 交通まちづくりに向けた取り組み検討

- 市民が主体となった交通まちづくりの機運を高めていくための取り組みを検討します。
- なお、平成 28 年度に南城市地域公共交通網形成計画を策定する際には、「南城市の公共交通を考えるワークショップ」を 4 回開催しており、地域公共交通計画策定時にもワークショップ等、市民や利用者の声を直接聞くことを目的とした取り組みを予定しています。

表 3.平成 28 年度の網形成計画策定時に実施した「南城市の公共交通を考えるワークショップ」の概要

回数	目的	WS(ワークショップ)の内容
第 1 回 (9/25)	<ul style="list-style-type: none">・ 南城市の今後のまちづくりについて知る・ 網形成計画の策定について知る・ 公共交通の現状を知り、ニーズと役割を考える	<ul style="list-style-type: none">・ WS についての説明・ 新たなまちづくりの動向についての説明・ 網形成計画についての説明・ 公共交通の現状についての説明・ 公共交通のニーズと役割に関するグループワーク
第 2 回 (10/16)	<ul style="list-style-type: none">・ 日常生活における問題と公共交通の役割について考える。	<ul style="list-style-type: none">・ 前回 WS の確認・ アンケート結果等の報告・ 今回のワーキングについての説明・ 公共交通の役割に関するグループワーク
第 3 回 (11/20)	<ul style="list-style-type: none">・ 将来の公共交通を考える上で重視すべきことを整理する・ 将来の公共交通について考える	<ul style="list-style-type: none">・ 前回 WS の確認・ 今回のワーキングについての説明・ 先進事例の紹介・ 公共交通の役割に関するグループワーク（第 2 回のおさらい）・ 公共交通整備の考え方についてのグループワーク
第 4 回 (12/18)	<ul style="list-style-type: none">・ 基本方針に沿った具体的な取り組みについて考え、地図に展開する。	<ul style="list-style-type: none">・ 前回 WS の確認・ 今回のワーキングについての説明・ 取り組み案についてのグループワーク

区分 4 新たなモビリティの検討

4.1 自動運転の実証運行の検討

- 令和5年度に斎場御嶽周辺で実施した自動運転車両の実証事業を踏まえ、自動運転レベルを上げたシステム主導による実証事業を行い、自動運転車両を活用した新たな交通サービスの可能性を模索し、安全かつ便利に移動できる交通サービスを検討します。

区分 5 観光交通の利便性向上に向けた検討

5.1 観光二次交通、三次交通の実証運行等の検討

- 那覇空港等と本市の交通結節点を結ぶ交通手段の確保及び公共交通による観光客の周遊を促進するための交通手段として、交通結節点と市内観光地間を結ぶためのニーズの把握も含めた実証運行等を検討します。